

防災気象情報の改善について

令和7年12月
水管理・国土保全局、気象庁

現在の主な防災気象情報と警戒レベルとの関係

- **警戒レベル**は、住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう、**避難情報等を5段階に整理**したもの。（例：レベル4＝避難指示、レベル3＝高齢者等避難）
- **防災気象情報**は、**避難情報の発令や住民の自主避難の参考となる「警戒レベル相当情報」**という位置づけですが、警戒レベルとの関係が分かりづらかったため、その改善を図りました。

警戒レベル				現在の防災気象情報（警戒レベル相当情報）						
警戒 レベル	状況	住民が とるべき行動	行動を促す 情報 (避難情報等)	防災気象情報						
				警戒 レベル 相当 情報	洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害	
					指定河川 洪水予報 (河川毎)	洪水害 (市町村毎)	大雨浸水害 (市町村毎)			
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (浸水害)		大雨特別警報 (土砂災害)	高潮特別警報	
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~				市町村は、 警戒レベル 相当情報 などを参考 に、避難指 示等の発令 を判断する	4 相当	氾濫危険情報		土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報	
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示		3 相当	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報 (浸水害)	大雨警報 (土砂災害)	警報に切り替える 可能性が高い 高潮注意報
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※	高齢者等避難		2 相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報		1 相当					
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報							

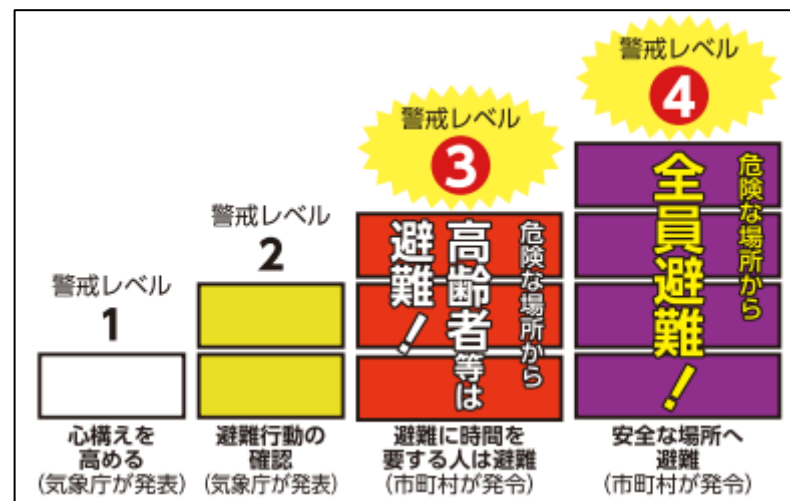
市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、避難指示等の発令を判断する

<警戒レベル4までに必ず避難！>

防災気象情報と警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があり、「防災気象情報に関する検討会」において2年半かけて検討。その最終とりまとめ（令和6年6月）に沿って防災気象情報を改善。

# 【参考】警戒レベルとは

- ▶ 住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう避難情報等を5段階の警戒レベルに整理。（平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、令和元年出水期から運用開始。）
- ▶ その後、令和3年の災害対策基本法改正により、警戒レベル4にあたる避難勧告と避難指示が避難指示に一本化。



❗ **警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。**

「避難行動判定フロー・避難情報のポイント」(内閣府(防災担当))より

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府(防災担当))より

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報 等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	（警戒レベルごとの） 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

# 河川氾濫・大雨に関する情報

- 河川氾濫等に関する情報は、**洪水予報河川のみを対象とした河川ごとの情報とし、これを一般向けの警報扱いとする。**これまでの気象台による**市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行わない。**
- **水位周知河川の氾濫危険情報等のレベル毎の水位の情報は、警戒レベルとの関係を含めてこれまで通りの運用とし、洪水予報河川への移行を促進する。**
- 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけ。**洪水予報河川以外の河川についても大雨に関する情報の中で一緒に扱う。**

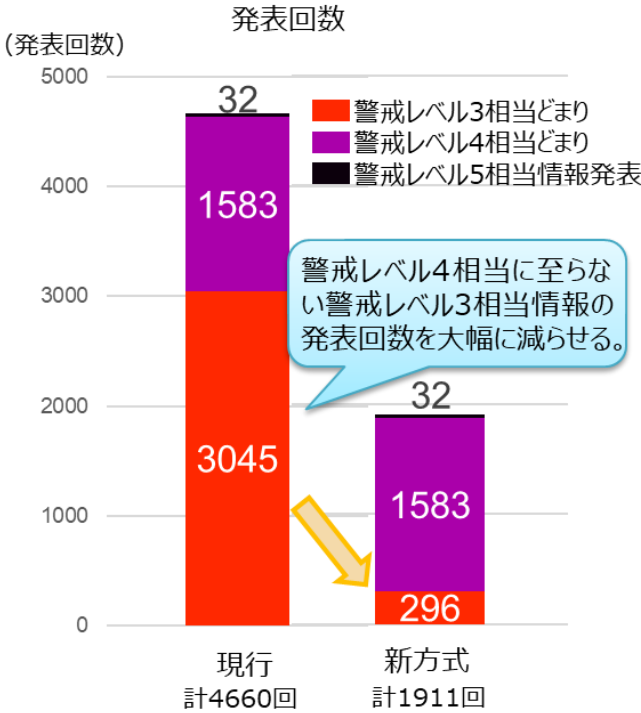
## 河川氾濫・大雨に関する情報体系と名称

河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報	
分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む 洪水警報等		
河川数	約400河川	河川事務所・都道府県 による水位情報は、これ までどおり発表すること とし、警戒レベルとの関 係は変更しない。	大雨に関する情報で扱う。	—	
発表主体	河川事務所または 都道府県と気象台			気象台	
発表単位	河川ごと			市町村ごと	
対象とする 主な現象	外水氾濫			内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫	
発表指標	水位（実測・予測）			表面雨量指数・流域雨量指数 （解析・予測）	
情報名称	5	レベル5 氾濫特別警報	洪水予報河川への 移行を促進	レベル5 大雨特別警報	
	4	レベル4 氾濫危険警報		レベル4 大雨危険警報	
	3	レベル3 氾濫警報		レベル3 大雨警報	
	2	レベル2 氾濫注意報		レベル2 大雨注意報	
	1	早期注意情報		早期注意情報	

- 警戒レベル 4 相当は、現在の土砂災害警戒情報から**レベル 4 土砂災害危険警報**に変更。
  - **レベル 3 土砂災害警報**は、3時間先※にレベル 4 土砂災害危険警報の基準に達すると予想される場合に発表します。
- 現在の大雨警報（土砂災害）に比べ、警戒レベル 4 相当に至らない**情報発表が大幅減**。
- ※4～6時間先にレベル 4 基準に到達すると予想が可能な場合にも発表

## 土砂災害に関する情報体系と名称

発表者		気象台
発表指標		60分雨量（解析・予測） 土壌雨量指数（解析・予測）
情報名称	5	レベル 5 土砂災害特別警報
	4	レベル 4 土砂災害危険警報
	3	レベル 3 土砂災害警報
	2	レベル 2 土砂災害注意報
	1	早期注意情報



土砂災害に関する警戒レベル 3 相当情報の発表回数の比較  
（令和 3 年のデータに基づく）  
新方式の警戒レベル 3 相当情報の発表回数は、3 時間先の予測のみで統計したもの



# 高潮に関する情報

- 国土交通大臣が指定する海岸（**高潮予報海岸**）では、国土交通省・気象台・都道府県が共同で、「**波の打上げ高**」を加味した、より精度の高い高潮の予報・警報を実施します。
- **レベル5 高潮特別警報は、氾濫が発生または切迫している場合に発表します。**（台風等を要因とした高潮特別警報から移行）

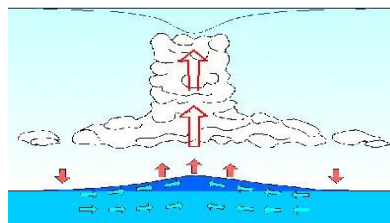
## 高潮に関する情報体系と名称

分類		高潮予報海岸	その他の海岸
発表主体		国土交通省・ 気象台・都道府県	気象台
発表指標		波による打上げ高を 考慮した水位・ 潮位	潮位
情報名称	5	レベル5 高潮特別警報	
	4	レベル4 高潮危険警報	
	3	レベル3 高潮警報	
	2	レベル2 高潮注意報	
	1	早期注意情報	

### ■ 現在の高潮予報・警報

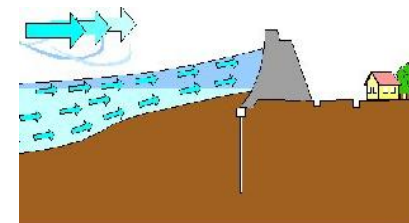
【吸い上げ】

気圧低下による潮位上昇



【吹き寄せ】

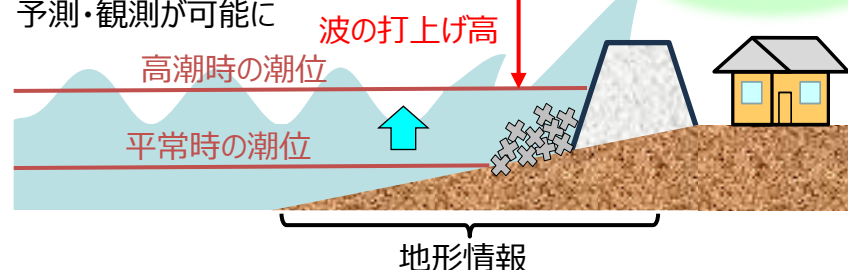
海岸に吹く風による潮位上昇



気象庁

### ■ 波の打上げ高を予報・警報に反映

- 波の打上げ高予測モデルや観測技術の開発により、波の打上げ高の予測・観測が可能に



国土交通省

都道府県

- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、**これまでと変わりません**。
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、**警戒レベルには相当しない**ことに留意してください。

警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

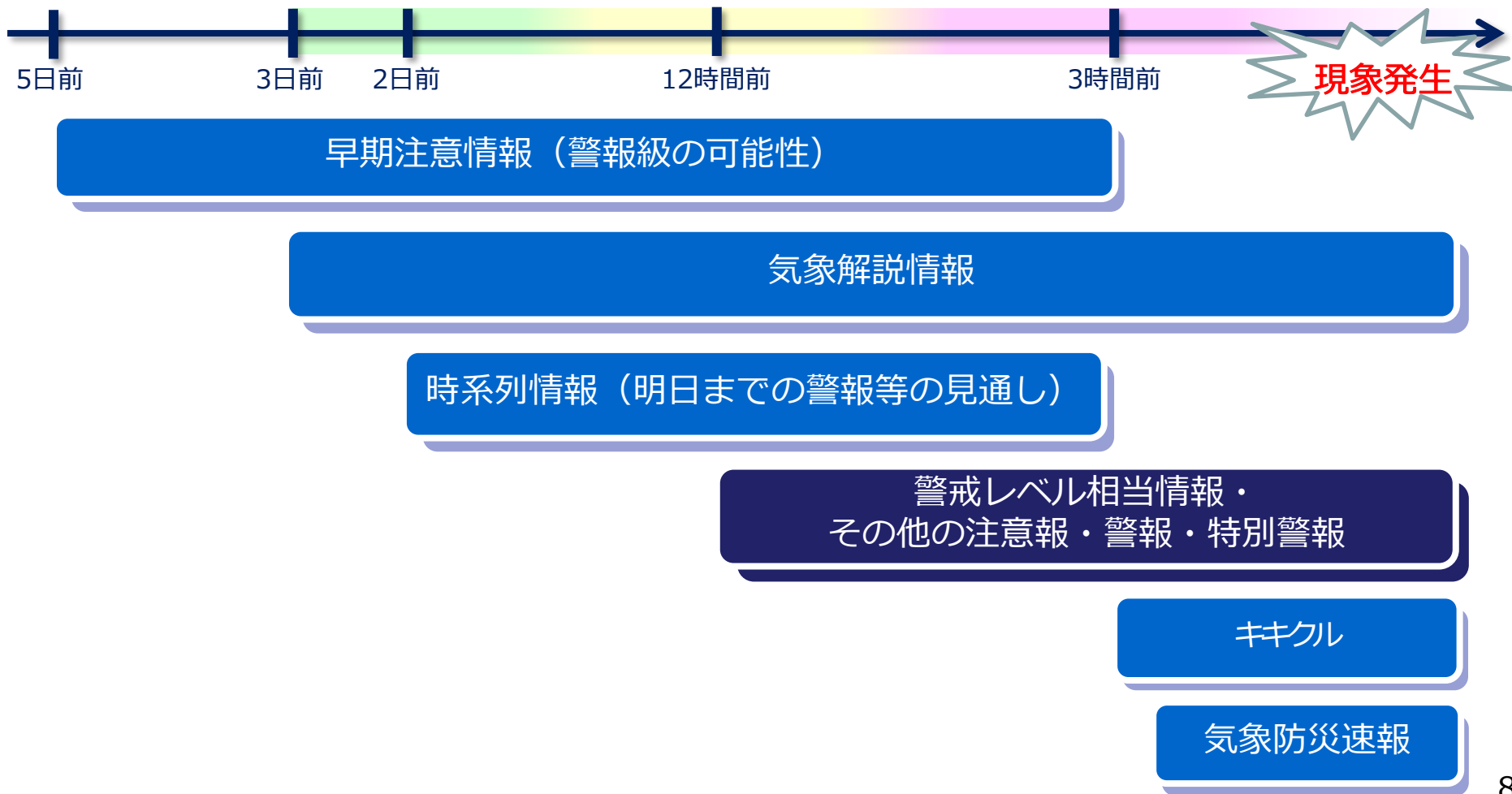
特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください。



# 段階的に発表される防災気象情報

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
  - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
  - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。



- 早期注意情報（警戒レベル1）は、5日先までの警報級の現象の可能性を発表
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って、翌日までの気象状況の見通しを、毎日4回発表

早期注意情報（警報級の可能性）

	1日	2日					3日	4日	5日	6日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-	-	-	-
土砂災害	-	[中]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	-

明後日までを対象とした情報について、現行では大雨に含まれる土砂災害の警報級の可能性を切り分けて発表するとともに、現行よりも情報の時間幅を細分化。

時系列情報（明日までの警報等の見通し）

全国の時系列情報（明日までの警報等の見通し）													
2025年02月17日17時00分発表													
北海道地方		17日		18日								19日	備考・関連する現象
		18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24		
1時間最大雨量	(mm)	100	100	50	50	30	30	10	10	10	10		
24時間最大雨量	(mm)	100											
大雨													
土砂災害													
暴風	(m/s)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
6時間最大降雪量	(cm)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
24時間最大降雪量	(cm)	0											
大雪													
波浪	(m)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
高潮	潮位 (m)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
雷													
融雪													
濃霧													
着氷													
着雪													
乾燥	最小温度 (℃)	35						35				35	
なだれ													
低温													
霜													

災害切迫

危険

警戒

注意

特別警報基準を超えると予想される時間帯

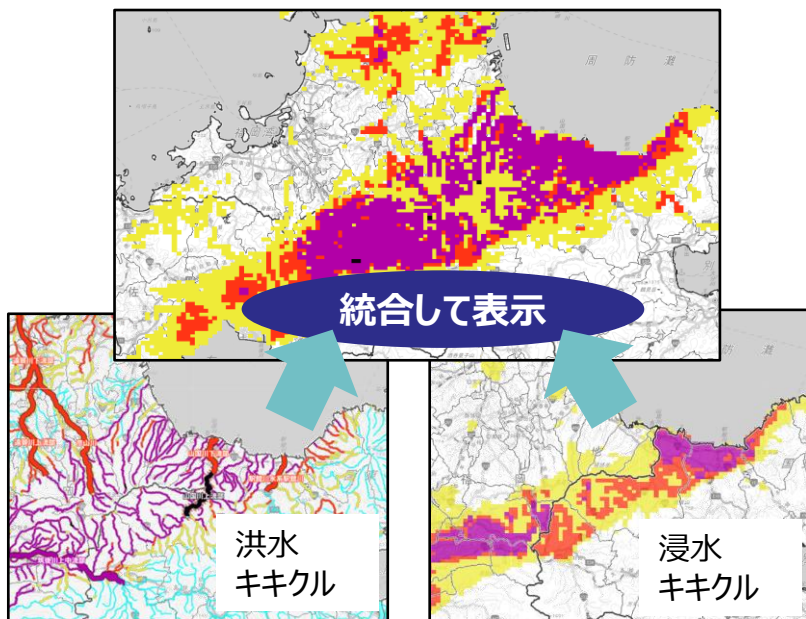
危険警報基準を超えると予想される時間帯  
(土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)

警報基準を超えると予想される時間帯  
(土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯)

注意報基準を超えると予想される時間帯  
(高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯)

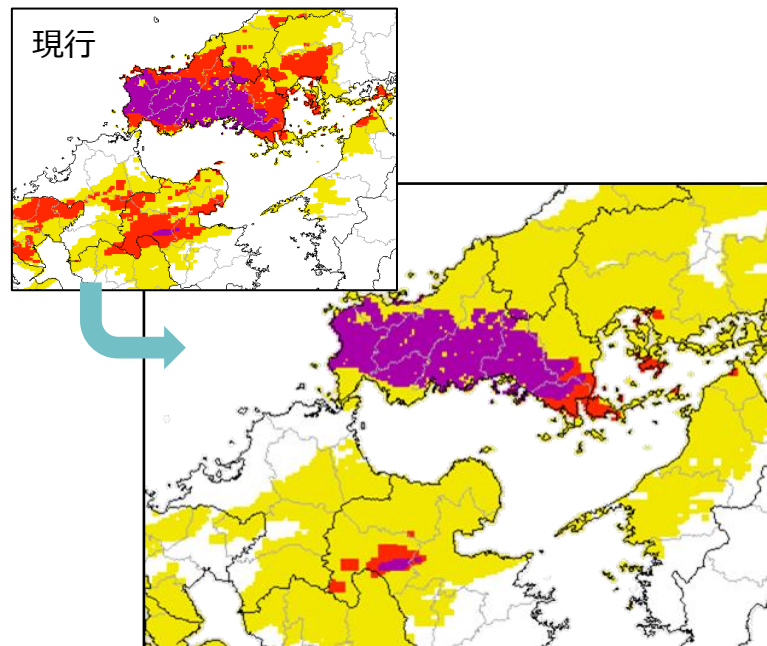
- 大雨や土砂災害に関する情報が発表された際、**危険度が高まっている地域を確認**するにはキキクルを活用してください。
- 「**大雨キキクル**」は、**大河川以外の河川の氾濫と浸水の危険度を重ねて表示**するもので、大雨に関する情報に対応しています。
- 「**土砂キキクル**」の警戒（赤色）については、以下の特性に留意が必要です。
  - 現行に比べ、警戒（赤色）の判定が狭く、**注意（黄色）から危険（紫色）のケースが多くなります。**
  - 4～6時間先に警戒レベル4相当の基準に達すると予想してレベル3土砂災害警報を発表した場合には、**警戒（赤色）の判定が出ていないことがあります。**

## 大雨キキクル（イメージ）



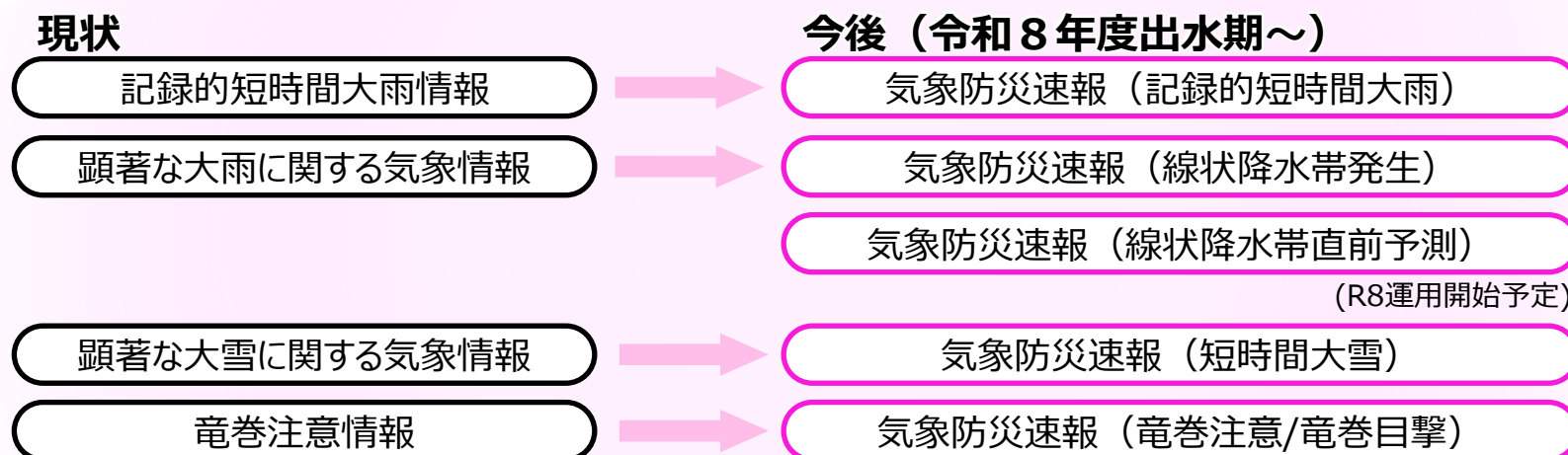
気象庁HPでは現行の洪水キキクルと浸水キキクルも切り替えて閲覧可能

## 土砂キキクルの特性変化（イメージ）

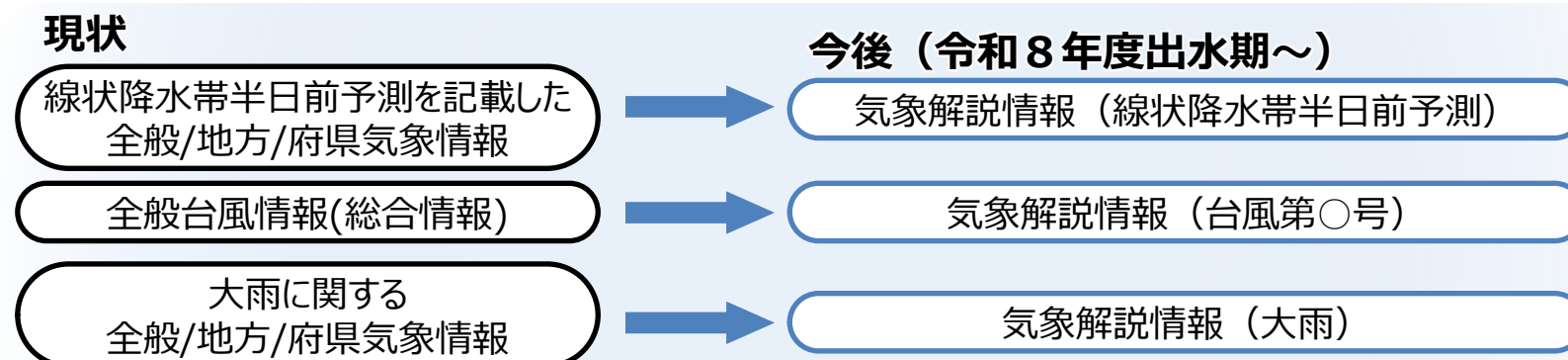


- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表。

## 気象防災速報 … 極端な現象を速報的に伝える情報（府県単位でのみ発表）



## 気象解説情報 … 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報（全国・地方・府県単位で発表）



# 河川管理者等による氾濫に係る通報

- 氾濫によって住民の生命に影響が及ぶ蓋然性が高くなる状況（警戒レベル5となる場合）においては、その状況の速やかな把握や迅速な身の安全を守る行動等の対応をとることが重要となる。
- 氾濫による著しい危険が切迫した状態にあることを、河川管理者等が水防事務を担う都道府県知事等にプッシュ型で通報し、通報を受けた都道府県知事が、水防関係者に通知を行うことで、市町村長等による迅速な緊急安全確保措置の指示やその他の的確な水防活動に繋げる。

※なお、通報を受けた都道府県知事が気象庁長官にも通知を行うことで、特別警報の発表の判断要素として活用される。

※浸水想定区域・・・住宅等が所在する区域において、洪水や高潮による氾濫等により浸水が想定される区域（市町村がハザードマップを作成することとなっている）

## 新たな通報制度の概要

著しい危険が切迫していると認められるとき

**河川管理者等**  
(河川・下水道・海岸管理者)



**通報**

**都道府県知事**  
(水防)  
※国管理河川は  
国土交通大臣が通知

相当な損害が発生するおそれがあると認められるとき



**通知**

**市町村長**  
(水防、防災)



**水防活動**

**水防活動・・・水災を警戒・防御し、被害を軽減する活動**  
・巡視活動、水防工法や避難誘導・救助活動



緊急安全確保

**住民**

報道機関

**気象庁長官**



# 防災気象情報の令和8年5月下旬からの主な変更点

## 河川氾濫・大雨

- **洪水予報河川**では、新設する河川氾濫の特別警報を**レベル 5 氾濫特別警報**とし、（発表には、河川管理者の氾濫通報を活用）
- **水位周知河川**では、これまでの水位情報による氾濫危険情報等の発表を続けつつ、**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。
- **その他河川・下水道**では、**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。
- **洪水警報**は、運用せず、**大雨の予報・警報と一体化**。  
（レベル 4 大雨危険警報を新設）

## 土砂災害

- 警戒レベル 4 相当は、現在の**土砂災害警戒情報からレベル 4 土砂災害危険警報に変更**。
- **レベル 3 土砂災害警報**は、3時間先※に**レベル 4 土砂災害危険警報の基準に達すると予想される場合**に発表。  
※4～6時間先にレベル 4 基準に到達すると予想が可能な場合にも発表

## 高潮

- **レベルに合わせた名称変更**。
- **気象庁**の潮位予測、**国土交通省**の波の打上げ高予測、**都道府県**の集約する地形情報等を結集し、国土交通大臣が**指定する海岸**について、**三者で共同して予報・警報を実施**
- **氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。

## 共通

- **情報名称にレベルの数字**をつけて発表。
- レベル 2 では「注意報」、レベル 3 では「警報」と**統一感を持った名称へ**。